

研修参加希望の皆様は、以下の事項をお読み頂いた上お申し込み下さい。

**【申し込み要件】**

全講座の申込み資格	東京都医療社会事業協会の会員となります。 会費未納者は会費納入後にお申し込み下さい(会費未納者は受講できません)。また、学生会員は受講できません。
新人研修	一部、東京都の受託事業(東京都から研修費が出ています)となっているため、 <u>応募者多数の場合は正会員(都内会員)を優先とさせていただきます。</u>
グループスーパービジョン (A・B・C・D)	各グループスーパービジョンの受講者には成果編集として、全研修終了後、報告書(レポート)を提出して頂きます。東京都で「医療ソーシャルワークの解決技法」という冊子にして発行予定です。

※開始時間を厳守し、講師や他の受講者の迷惑とならないよう配慮して下さい。全回出席できることが申し込みの基本条件となります。やむを得ない事情で欠席する際は各研修担当理事もしくは他の参加者に連絡して下さい。

※受講者は、連絡できる携帯電話番号・メールアドレスを事前に登録していただきます。

**【申し込み方法】**

新人研修	①協会事務所へ新人研修担当者宛として、簡易書留で講座申込書を郵送して下さい。 また、 <u>返信用の封筒もお忘れなく同封して下さい</u> (申し込み者の住所、氏名等、宛先を記入の上)。FAX、メール等での申し込みは出来ません。 期間内で受付し、申込者多数の場合は担当者による抽選となります。 <u>詳しくは受講案内詳細(P3)をご覧ください。</u> ②協会員であることが必須条件です。 <u>平成30年5月19日の理事会承認が得られた方までが対象になります。</u>
新人研修以外の講座	①講座案内をご覧頂き協会事務所へ講座申込書をFAXでお申し込み下さい。 ②講座ごとに受付期間が異なりますので、各講座案内を確認の上お申し込み下さい。応募者多数の場合は先着順かつ初受講者を優先とします。

**【注意事項その他】**

※一つのグループに偏りがある場合は、教育部で調整させて頂く事があります。予めご了承下さい。

※参加者が定員に満たない場合は追加募集を行う事もあります。

※多くの会員が受講できるように、グループスーパービジョンに限り1人1講座の申し込みとさせていただきます。

※参加した講座で予定外の講義や合宿などを行う場合の費用は、全て自己負担となります。

※途中、講師などの事情により、講師や会場・日時の変更をする場合もあります。

※今年度の新人研修の受講生は来年度の新人研修の運営のお手伝い(概ね1回/年)をして頂くことがあります。また、毎回、宿題として前回の感想を提出して頂きます。

※今年度は、「講座」を年3回計画しております。

※今年度は「SV養成講座(6月～2月 計8回)」、連続講座「外国人支援のためのソーシャルワーク(6月～9月 計4回)」、ソーシャルワークの実践やアセスメントに関して年度後期に2講座(それぞれ計5回)を開催いたします。後期の研修につきましては、開催時期が近くなりましたら、再度、ご案内致しますので奮ってご参加下さい。

## 平成30年度 研修会予定一覧

研修名	講師	定員	認定医療社会福祉士 ポイント	
新人研修	協会依頼の講師	通年:40名 集中:20名	特別講義 (通年・集中共通) 16	
			通年	組織理解 16
				個別援助技術 21
			集中	組織理解 9
個別援助技術 9				
グループ スーパービジョン A	古屋 龍太 先生 (日本社会事業大学大学院)	9名	26	
グループ スーパービジョン B	石井 三智子 先生 (元、武蔵野大学 現、日本社会事業大学)	9名	26	
グループ スーパービジョン C	朝比奈 朋子 先生 (東京成徳大学)	9名	26	
グループ スーパービジョン D	助川 征雄 先生 (聖学院大学・大学院)	9名	26	
スーパーバイザー 養成講座	福山 和女 先生 (ルーテル学院大学)	12名	21	
外国人支援のための ソーシャルワーク	協会依頼の講師	20名	16	
ソーシャルワーク実践を 支えるスキル	佐原 まち子 先生 (WITH医療福祉実践研究所 代表理事)	20名	年度後半の開催を予定しており ます。 詳細につきましては、追って皆 さんにご案内いたします。	
多問題を抱える家族の 理解と支援	山本 由紀 先生 (遠藤嗜癪問題相談室室長 ／上智社会福祉専門学校)	20名		

※開催日時や開催場所については、各受講案内をご覧になった上で、お申し込み下さい。

※認定医療社会福祉士のポイントは、該当講座の9割以上の出席で発行となります。

## 受講案内詳細【新人研修】

### 新人研修(通年)

講師	協会依頼の講師
開催日時	新人研修開催日程参照
会場	家庭クラブ会館(JR新宿駅南口 徒歩8分)
対象者	経験年数3年未満の方 ※会員歴ではなく、ソーシャルワーカー経験3年未満です
定員	40名
費用	¥26,000円(消費税込) 一部東京都受託事業 申込み受付時に振込用紙を返送(開講当日に振込用紙の控えかコピーを持参下さい)

### 新人研修(集中)

講師	協会依頼の講師
開催日時	新人研修開催日程参照
会場	家庭クラブ会館(JR新宿駅南口 徒歩8分)
対象者	経験年数3年未満の方 ※会員歴ではなく、ソーシャルワーカー経験3年未満です
定員	20名
費用	¥17,000円(消費税込) 一部東京都受託事業 申込み受付時に振込用紙を返送(開講当日に振込用紙の控えかコピーを持参下さい)

※特別講義は通年・集中とも合同で開催します。それ以外の講義は通年・集中で分かれて開催します。

### 申込み方法(通年・集中)

受付期間	研修会ご案内到着後～平成30年5月15日(火) 当日消印有効
申込方法	下記2点を簡易書留郵送にてお申込み下さい。 ①平成30年度講座申込書 ②返信用封筒は、サイズ長3(A4三折が入る大きさ)に82円切手を貼り、宛先(申込者の住所・氏名等)を記入する
申込受付	基本的に簡易書留郵送にて上記期間内で受け付けますが、応募者多数により、受講頂けない場合があります。万が一、受講頂けない場合は、担当者から申込者へ直接ご連絡させて頂きますのでご了承下さい。 また、指定の方法以外での申込みは、原則受付出来ませんのでご注意ください。
郵送先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階 一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部 新人研修担当者まで
受講費用	受講申込期間終了後、受講決定者には受講決定通知と研修費用振込用紙等を、同封頂いた返信用封筒で郵送致します。必ず、受講費用の振込みを6月1日(金)までに完了して下さい。また、年会費に関しても必ず振込みを行った上でご参加ください。 開講日当日には振込みの控えもしくはコピーをお持ち下さい。

※申込みに関するお問合せ先(メールでお願いします)

<p><b>【教育部】</b>                  東京都保健医療公社 荏原病院                  地域医療連携室 医療相談係 大宮 謙一                  Email : kenichi_oomiya@tokyo-hmt.jp                  TEL : 03-5734-8000(代表)</p>
---

## 平成30年度 新人研修開催日程(通年)詳細案内

※講師敬称略

開催(日・時間)		内 容		講 師	会 場	
6月	8日	特別講義	① 病院で働くということ ～ソーシャルワーカーの本質～	当協会会長 先輩OBソーシャルワーカー	家庭クラブ会館	
	22日		② 先輩ソーシャルワーカーからのお話	現任ソーシャルワーカー		
7月	6日	組織理解	(1)オリエンテーション・自己紹介	至誠会第二病院 樋口 昌彦		
	20日		(2)SWの機能と役割			
8月	3日		(3)病院組織内の医療相談室 チームワーク			
	24日		(4)SWの業務の範囲と責任			
9月	11日		(5)地域内諸機関との協働			森山記念病院 仲谷 恵美子
	21日		(6)組織理解まとめ			
	28日					
10月	19日	特別講義	③ 病気とソーシャルワーク	帝京平成大学 平岡 久仁子		
11月	2日	特別講義	④ 社会保障Ⅰ(年金、医療保険など)	山下社労士行政書士 合同事務所 山下 律子		
	9日		⑤ 社会保障Ⅱ(高齢、障がいなど)	順天堂大学医学部附属 練馬病院 柴田 礼子		
	20日		⑥ 記録と報告	国際医療福祉大学 小嶋 章吾		
12月	4日	個別援助技術	(1)この研修で目指すもの・コミュニケーション	武蔵野大学 小松 美智子		
	18日		(2)理解的態度・共感的態度			
1月	15日		(3)スクリーニングとインテーク			
	22日		(4)インテークとアセスメント			
2月	12日		(5)アセスメント			
	26日		(6)アセスメントと支援計画(実践的判断)			
3月	8日		(7)業務改善の視点			
			(8)個別援助技術まとめと振り返り 修了式			

※講師や会場その他の都合により日程が変更になる場合があります。その際は開講当日に決めた連絡網にて連絡します。

※7割出席にて修了証を発行します。

※最終日に皆勤、修了の表彰をします。その後、打ち上げ会を予定しています。(参加費別途徴収)

※勤務先、連絡先等変更があった際は、都協会事務所と担当理事までご連絡下さい。

※欠席する場合は担当理事までご連絡ください。急な欠席の場合は受講者同士で連絡を取り会場にいる担当理事に伝言ください。

会場のご案内:家庭クラブ会館 東京都渋谷区代々木3-20-6

平成30年度 新人研修開催日程(集中)詳細案内

※講師敬称略

開催(日・時間)			内 容(特別講義)		講 師	会 場
6月	8日	19時から21時	特別講義	① 病院で働くということ ～ソーシャルワーカーの本質～	当協会会長 先輩OBソーシャルワーカー	家庭 ク ラ ブ 会 館
	22日			② 先輩ソーシャルワーカーからのお話	現任ソーシャルワーカー	
9月	8日	9時から17時	組 織 理 解		至誠会第二病院 樋口 昌彦  森山記念病院 仲谷 恵美子	
	28日		③ 病気とソーシャルワーク	帝京平成大学 平岡 久仁子		
10月	19日	19時から21時	特別講義	④ 社会保障Ⅰ (年金、医療保険など)	山下社労士行政書士 合同事務所 山下 律子	
11月	2日			⑤ 社会保障Ⅱ (高齢、障がいなど)	順天堂大学医学部附属 練馬病院 柴田 礼子	
	9日			⑥ 記録と報告	国際医療福祉大学 小嶋 章吾	
12月	1日	9時から17時	個 別 援 助 技 術  ～修了式～		武蔵野大学 小松 美智子	

※講師や会場その他の都合により日程が変更になる場合があります。その際は開講当日に決めた連絡網にて連絡します。

※7割出席にて修了証を発行します。

※最終日に皆勤、修了の表彰をします。その後、打ち上げ会を予定しています。(参加費別途徴収)

※勤務先、連絡先等の変更があった際は、都協会事務所と担当理事までご連絡下さい。

※欠席する場合は担当理事までご連絡ください。急な欠席の場合は受講者同士で連絡を取り会場にいる担当理事に伝言ください。

会場のご案内: 家庭クラブ会館 東京都渋谷区代々木3-20-6

# 新 人 研 修 講 座 概 要

## <講師>

- 特 別 講 義** : 田上 明 会長  
武内 昶篤 副会長  
平岡 久仁子 先生 (帝京平成大学)  
山下 律子 先生 (山下社労士行政書士合同事務所)  
柴田 礼子 先生 (順天堂大学医学部附属練馬病院)  
小嶋 章吾 先生 (国際医療福祉大学)  
その他、現任ソーシャルワーカー
- 組 織 理 解** : 樋口 昌彦 先生 (至誠会第二病院)  
仲谷 恵美子 先生 (森山記念病院)
- 個 別 援 助 技 術** : 小松 美智子 先生 (武蔵野大学)

新人研修は内容としては特別講義・組織理解・個別援助技術の3部構成です。  
研修体系としては、通年・集中の2コースに分かれています。

## <内容>

**特別講義**(全6回)は、通年・集中両方を参加者全員に受講して頂きます。新人ソーシャルワーカーとして是非知っておいて頂きたい内容として、様々な視点と領域から各テーマを設定しています。

**組織理解**は、組織の中でのソーシャルワーカーの位置づけや果たすべき役割、関係機関との協働などを中心に組織の中で役立つ基本的内容を講義していきます。

**個別援助技術**は、日常の相談業務を振り返りながら、面接をいかにに行い、どのように進めていけば良いのか、相談者の抱えている本当の問題を発見し、理解するためにどうしたら良いのか・・・といった日常の相談業務に役立てられる内容の講義をしていきます。

## <研修体系(通年コース・集中コース)>

通年コースは、概ね月2回(スケジュール上1または3回の場合有)実施します。特別講義6回、組織理解6回、個別援助技術8回の全20回開催予定です。一年間、じっくりソーシャルワーカーとしての基礎を学べるコースです。

集中コースは、通年コースでは回数が多いので業務上参加が難しいという方のために開催します。特別講義6回は変わりませんが、組織理解と個別援助技術を各1日でコンパクトにまとめて学べるようにし、全8回開催予定としたものです。

## ～昨年度、新人研修受講生の声より～

◆1年間の研修を終え、同じ位の経験年数のソーシャルワーカーのみなさんと、日々どんなことが大変で悩んでいるのかを共有する機会を持てたことがとてもよかった。今の業務に直結することも多く、勉強になりました。

◆ソーシャルワーカーとして、社会人として、職場内にいるだけでは分からないことを、この研修の場で解決できる場面が何度もありました。ソーシャルワーカーとしての病院内でのあり方を学ぶことができました。

◆日々の業務に追われる中で、ソーシャルワークを学ぶ機会を持てたことは、自分の業務を振り返り、支援の意図を再確認できた貴重な時間でした。これからも学び続けたいと思いました。

◆この研修を通して、ソーシャルワークのおもしろさを改めて感じました。可能であればこのままずっとソーシャルワーカーを続けたいと思いました。また、いろんな人とディスカッションする楽しさも分かりました。職場では、なかなか自分の意見が言えなかったけど、何故だか研修ではいろんなことを話すことができました。とても有意義な研修でした。

◆各週、仕事終わりに通うのは大変だったけど、他の病院のソーシャルワーカーとも仲良くなることができました。ソーシャルワーカーとして技術を学ぶことはもちろんだが、同期がいなかったのも、同じような悩みを共有することができました。

# 受講案内詳細

## 【グループスーパービジョンA・B・C・D】

定員	: A・B・C・Dそれぞれ9名
費用	: 東京都受託事業のため不要
申込期限	: 平成30年5月15日(火)必着
申込方法	: 講座申込書に記入し、下記宛にFAXでお申込み下さい(メール不可)。
申込先	: 東京都医療社会事業協会 事務局 宛
FAX	: <u>03-5944-9745</u>

### グループスーパービジョン等における事例の記載方法

グループスーパービジョンは、東京都の受託事業であり、受講者には必ず成果編集で、事例を提出して頂きます。

それは「医療ソーシャルワークの解決技法」という冊子として、東京都がまとめて都庁都民情報ルームや図書館などで広く一般に出回るため、提出の際に様々な配慮が必要となります。

そこで、東京都医療社会事業協会として、記載方法を統一しました。

記載方法の詳細については、グループスーパービジョン初回到教育部からご案内いたしますので、欠席のないようよろしくお願いいたします。

また事例を提出するにあたっては、基本的にクライアントの承諾を得てください。

#### 原稿の提出

方法:	Eメールに添付するなど、担当者の指示に従い提出してください。
期限:	提出期限は基本的に次年度の4月末としますが、各研修の状況により期限が前後する場合があります。それまでの過程は、スーパーバイザーの指示に従ってください。

※提出していただいた原稿は、お返し致しません。また、冊子の校正を進める段階で、場合により東京都の担当者が一部訂正・削除することもありますので、ご了承下さい。

※受講時の事例の配布についても、同じように特定されないような配慮をし、事例提出者が最後に回収する等、個人情報の保護に努めて下さい。

平成30年4月1日 一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部

## 受 講 案 内 詳 細

### グループスーパービジョンA

講師 古屋 龍太 先生(日本社会事業大学大学院 教授)

**【講師略歴】**1982年より国立武蔵療養所、国立精神・神経センター病院にソーシャルワーカー(PSW:医療社会事業専門員)として26年間勤務。2008年より日本社会事業大学専門職大学院准教授、2015年より教授、2016年より同研究科長。現在、日本精神保健福祉士協会理事、日本デイケア学会副理事長。単著に『精神科病院脱施設化論』『精神障害者の地域移行支援』、編著に『Q&Aでわかるこころの病の疑問100』、共著に『ソーシャルワーク・スーパービジョン論』など。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			20日	18日	15日	19日	24日	21日	19日	16日	20日	20日
開催時間	19時00分～21時00分 第3水曜日開催 (10月のみ第4水曜日)											
会 場	東京芸術劇場 5階会議室											
対 象 者	経験年数1年以上の方 注:認定社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、 <u>証明書は発行出来ない場合があります。</u>											

### ～古屋 龍太先生より～

あなたは、日頃の現場で、もやもやを抱えていませんか？ソーシャルワーカー(SW)として、目の前のクライアント(CL)と向き合えているでしょうか？医療機関におけるSWとして、本当に仕事ができているでしょうか？転院調整係になってはいないでしょうか？

臨床現場でSWは様々なジレンマを抱え込みがちです。医療専門職がCL側の「問題」と考えがちな事柄は、実はSW側の課題を表しています。SWが、CLにとって最良の選択肢をと願っていても、自職場でできないこともあります。他職種との価値の相違や、チーム内における自身の立ち位置の課題に直面せざるを得ないこともあるでしょう。忙しい業務の中で、SWのかかわりは擦り切れてしまいがちです。自身の行為が本当にSWのかかわりとして適切であったか、他者の目を通して検証する場が必要です。GSV-Aグループでは、提出された事例について、皆で質問し相互に省察を深めていくピアGSVの形をとっています。取り上げるテーマは、SWのCLへのかかわり方を中心としつつ、チーム内でのSWとしてのポジション、医療経営とのかかわり、地域の関係者との関係など、同心円状に広がっていきます。SWとしての価値と視座を再確認しながら、自分の実践や周辺環境をどのように変えていくことができるか、その方法を皆で考えていきます。

もやもやの答えは、あなたの中に、既にあるはずで。GSVとともに語り合うことを通して、もやもやの言語化にチャレンジしましょう。

### ～昨年度の受講者の声より～

◆日頃の業務に追われ、なかなか振り返りができていなかった気がかりなケースを事例提供しました。他の受講生の視点や先生からの言葉で新たな気づきがあり、とても充実した研修となりました。

◆経験年数が近いSW同士、悩んでいることの共有、自分にはない視点・考え方を知ることができ、それを今後の業務に生かしていきたい。

◆率直な意見も言いやすい雰囲気、他の受講生の方との交流も深められ、モチベーションアップにつながりました。

◆他院SWと日々の想いを共有できる場であり、自身の業務遂行の救いになりました。



## 受 講 案 内 詳 細

### グループスーパービジョンB

講師 石井 三智子 先生（日本社会事業大学非常勤講師）

**【講師略歴】**1956年生まれ。広島県出身。中・高の教員(社会科)を経て、都内医療機関の医療ソーシャルワーカー、企業・在宅医療分野のクリニックのソーシャルワーカーを歴任。南山大学(文化人類学)、上智大学卒業。日本女子大学修士課程修了。武蔵野大学(旧武蔵野女子大学)の専任教員を経て、現在にいたる。「平和教育」の実践を出発点に、被爆者の人権と証言への関心は、被爆2世としての私の原点でもある。この20年近くのインフォーマルなまたフォーマルな形の現役MSWへのサポートは、ライフワークの一つである。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			28日	26日	23日	27日	18日	22日	20日	17日	28日	28日
開催時間	19時00分～21時00分 第4木曜日(ただし、10月・12月・1月は第3木曜日)開催											
会場	6月・7月 東京芸術劇場(JR池袋駅西口 徒歩2分) 8月以降 家庭クラブ会館(JR新宿駅南口 徒歩8分) ※6・7月と8月以降で会場が変わります。ご注意ください。											
対象者	経験年数1年以上5年未満の方 注: 認定社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、 証明書は発行出来ない場合があります。											

### ～石井 三智子 先生より～

あるスポーツ競技で最高を極めようとしているアスリートのことばである。「基本的な正しい技術の習得と、練習による積み重ねこそ最も大切である。そのことなくしては、芸術性をも表現するような高みをめざすことはできない。」と彼は、あるインタビューで語る。領域を超えて、ソーシャルワークの分野においても通底するものがあるのではないだろうか。ここ3年近くは、臨床2～3年前後の経験を持つ20歳代から30歳代のメンバーと多くグループで関わってきた。事例や発言、成果原稿から彼らの悩みや葛藤が透けて見えてくる。集約してみると、①自分のやっていることは、患者の利益を最優先し、その気持ちや心に添えているのかどうか②当事者の意思決定を真に支え、代弁者たりえているのかどうか③全体の事例のプロセスから、当初のアセスメントの妥当性、社会資源の選択は妥当であったのかどうかの三つに整理してみたいと思う。職業的な倫理・めざす目標と現実との乖離は当然であり、その葛藤を通じてよりよい支援を再検討していく。患者の権利や意思決定にまつわる悩み、不安全感は、ことに終末期の事例においてより顕在化している。面接における相互交流と本音を引き出す質問力は、事例のプロセスにおけるそれぞれの局面で試され、展開に影響を与えている。今年度は上記にあげたような支援者の悩みや葛藤、不安全感、傷つきに焦点をあて、向きあってみたいと思う。うまくいかないと思ったこと、失敗したと思ったこと、心身の傷つきを経験したこと、その先に何が見えてくるのだろうか。支援者のこうした経験は、患者、家族の悲しみや苦しみ、傷つきと相似形をなしているのかもしれない。提出される事例を通じて、複数の眼差しで検討をすすめていく中で、見えてくるであろうものは、自らと仲間へのエンパワメントであり、支援したい人々へのエンパワメントであることを期待したい。

- 参考文献
- ①アーサー・W・フランク著 鈴木智之訳「傷ついた物語の語り手」 ゆみる出版 2002
  - ②平田オリザ著「わかりあえないことから」 講談社現代新書 講談社 2012
  - ③鷺田清一著「語りきれないこと ～危機と痛みの哲学～」 角川学芸出版 2012
  - ④齋藤環著+訳「オープンダイアログとは何か」 医学書院 2015

### ～昨年度の受講者の声より～

◆普段業務を行なう中で、自分自身の「出来なかった事」に目が向くことが多いので、石井先生や受講生の方々が優しく新たな視点で事例を捉え直して下さい、大変勉強になりました。事例発表にあたり、資料を作成する過程そのものが面接再考の一助となっていたように感じています。

◆グループのメンバーは志の高い人ばかりで毎回刺激を受けています。皆、悩んだり苦しい思いをしながらやっているんだ、ということに勇気づけられます。それぞれ所属する病院の機能や風土は違いますが、どの事例でも毎回持ち帰れるようなことを学びました。

## 受 講 案 内 詳 細

### グループスーパービジョンC

講師 朝比奈 朋子 先生(東京成徳大学 准教授)

**【講師略歴】**日本社会事業大学卒業後、淑徳大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻を修了。現在は、東京成徳大学の准教授で、日本における貧困問題の実証に関する研究や、高次脳機能障害者の地域生活支援に関する実践的研修を行っており、数々の著書、論文を執筆。その他、習志野市障害支援区分認定審査会委員や八千代市介護保険事業運営協議会委員・八千代市公的介護施設等整備事業者評価委員会委員を務めており、数多くの場で活躍している。平成26年度より、当協会のグループスーパービジョンの講師として、生活アセスメントについて、講義とスーパービジョンを行っていただいている。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			11日	9日	20日	10日	1日	12日	10日	21日	18日	11日
開催時間	18時30分～20時30分 第2または第3月曜日開催											
会 場	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口 徒歩8分）											
対 象 者	経験年数2年以上の方 注：認定社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、 証明書は発行出来ない場合があります。											

～朝比奈 朋子先生より～

このグループでは、「生活アセスメント」の理論と手法を用いてGSVを行います。医療機関の中で唯一、クライアントを「生活者」として支援・援助する立場のMSW。当たり前のことすぎるけれど、本当にクライアントの「生活」を理解した上でソーシャルワークを行っているのでしょうか。「どこまで患者の話を聞いていいのかわからない」、「さまざまな情報を基に支援をしているのに、患者・家族の考えていることがよくわからない」、「自分の行った支援がよかったのか自信がない」等々、イマイチすっきりしない思いを抱えて日々の業務をしている方は、クライアントの「生活」を十分に捉えないまま支援していることに原因があるかもしれません。

このグループでは、まずはわたしたちの生活のしくみを講義で確認した上で、「生活アセスメントシート」に記入した事例を持ち寄り、丁寧にクライアントの生活を捉えることを通じて「クライアントが見える」（共感的に理解する）ようになることを目指します。これらの過程を繰り返すことで、各自が生活を理解する視点を持ち、自信を持って日々のソーシャルワークを行うことができるようになることを目標とします。1年間ともに学び合い、明日からのソーシャルワークを自信のあるものに変えましょう！

参考文献 生活アセスメント研究会編集『福祉・介護に求められる生活アセスメント』中央法規 2007  
※参考文献はあくまでも参考です。

～昨年度の受講者の声より～

- ◆「生活を見るために、クライアントの出身・職業など現在に繋がるクライアントを理解するにあたってのポイントを認識することができた」
- ◆「受講してアセスメントの大切さを再認識することができた。生活アセスメントを通じて、クライアントの理解を深めることができた」
- ◆「先生の人柄からか、とても穏やかな雰囲気です。毎回学ばせてもらった。生活アセスメントの視点として、方法論だけではなく、職業的な背景（給与形態や役職による退職時期の傾向等）を学ぶことができ、大変勉強になった」

## 受 講 案 内 詳 細

### グループスーパービジョンD

講師 助川 征雄 先生（聖学院大学・大学院 客員教授）

【講師略歴】民間精神科病院、神奈川県（精神保健福祉士）勤務。1977、1987年に英国留学。主に精神障害者の地域生活支援推進業務に従事。現在は、田園調布学園大学教授および聖学院大学人間福祉学部教授を経て・同大学院客員教授。杉並区障害者福祉推進連絡協議会会長。聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター認定スーパーバイザー。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			15日	20日	24日	21日	19日	16日	21日	18日	15日	15日
開催時間	19時00分～21時00分 第3金曜日（8月のみ第4金曜日）開催											
会場	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口 徒歩8分）											
対象者	経験年数4年以上の方 注：認定社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、 <u>証明書は発行出来ない場合があります。</u>											

### ～助川 征雄先生より～

このGSVでは、参加者の自由な発言や体験交流を大切にしたいと思います。特に大切にしたいことは、クライアントと「関わりを大事にしたかどうか」ということです。それらの検討を通じ、クライアントの様々な困難と同時に担当者を取りまく課題などを再認識し、解決のためのあらたな発想（着眼点）を見つけ、共有することを目指したいと思います。また、医療機関という高度な技術やサービスが期待される職場ならではの苦労があると思います。多職種とともに働く喜びと同時に、そのような場において、ソーシャルワーカーは何をなすべきかという、「役割をはたすための様々な工夫や苦心」が多々あると思います。それらを忌憚なく自由に吐露できる場にぜひできたら良いなと願います。ソーシャルワーカーは、その働きの中心に「生活支援」を掲げてきました。しかし、少子高齢化や社会格差など、生活環境の複雑化が加速しています。それらの中で、医療保健福祉ニーズがますます多様化し、現場は、さらなる負担を余儀なくされているのではないのでしょうか。しかし、これらの医療の高度化や効率化の中、「病者・障害者としての対象化」が進む中にあるからこそ、ソーシャルワーカーは、クライアントの生活支援や夢や希望の実現によりそう、身近な相談援助者としての役割が一層重要になってくるのではないのでしょうか。それは、「アナログ的で人間的なかかわり」を大切に続けるということにほかなりません。言い換えるならば、クライアントの自力や経験知を活かし、自己決定のチャンスを広げる援助視点、シャープアップされた専門相談スキルと魂をもって「その課題解決や緩和に貢献する」ということではないのでしょうか。GSVは自由な発言と自己開示の場でもあります。今回もまた私は、これまでの経験をもとに、率直かつ柔軟にこの場に臨み、様々なご経験に耳を傾け、苦楽を分かち合い、専門職としての未来への夢や希望を語り合いたいと願うものです。

なお、GSVの参加者は9名程度とし、毎回順番に1事例を提出していただき、次回の事例提出者に司会進行をお願いしたいと思います。

時間配分は、事例報告に40分程度、その後、約1時間余自由討議をお願いしたいと思います。事例発表にあたっては、原則として、クライアントの了解を得て、資料表記は匿名でお願いします。また、下記参考文献をご覧ください、GSVへご参加くださるようお勧めします。

参考文献 助川征雄；ふたりぼっち（精神科ソーシャルワーカーからの手紙 ～新書）・万葉舎2015  
助川征雄；（福祉の現場で役に立つ）スーパービジョンの本；河出書房・2012  
柏木昭、佐々木敏明；ソーシャルワーク協働の思想；へるす出版・2010

### ～昨年度の受講者の声より～

◆自分の職場を離れて職場を客観的にみることができたり、機能やエリア、組織のあり様が異なる他の現場のSWとの出会い、刺激をもらえる場でした。安心して話せる場、であり、グループのメンバーに感謝します。

◆先生は私たちの頑張っている点に目を向けて下さるので、日々の業務でいっぱいになっていく中でスッキリさせてもらえました。とても受容的な雰囲気、いつもエンパワメントしてもらいました。

## 受 講 案 内 詳 細

### スーパーバイザー養成講座

講師 福山和女先生(ルーテル学院大学文学部社会福祉学科教授)

【講師略歴】同志社大学卒。同大学大学院修士課程修了。カリフォルニア大学バークレイ校修士課程修了。公衆衛生学修士(MPH)。Catholic University of America大学大学院博士課程修了。社会福祉学博士(DSW)。スーパービジョン・コンサルテーション研修では、全国各地で保健・医療・福祉の専門家たちの指導にあたっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			19日	17日		18日	16日	20日	18日	15日	19日	
開催時間	18時30分～20時30分 第3火曜日開催											
会 場	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口 徒歩8分)											
対 象	経験年数2年以上の方 注: 認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	12名程度											
費用	16,000円(税込)受講決定者には、後日、振込用紙を配布します。											
申込期間	平成30年5月15日(火)必着											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛にFAXでお申し込み下さい(メール不可)。											
申込先	東京都医療社会事業協会 事務局 宛 FAX 03-5944-9745											

### 福山和女先生より

スーパーバイザー養成講座では、日ごろのスーパービジョン活動の中での疑問点・困難点、を明らかにして、これまでにできてきたことのその妥当性を見つけ、スーパービジョン実践の積み上げをしましょう。最近では、新人養成も難しくなってきたようですが、スーパーバイザーである皆さんのやり方が問題なのではありません。むしろ、そのような現象が生じる社会の事象ですので、スーパービジョンでは、その事象をうまく活用して、ソーシャルワーク実践の意義を深めていきましょう。実際には、多職種との連携でも、「さすがソーシャルワーカーさんですね」と言われたいものですね。部下の方への指導の仕方も、所属組織の独自性を加味して行うことが必要になるでしょう。スーパービジョンの話し合いでは、所属組織の課題も取り上げることになりますが、情報開示の件は十分に考慮して行います。もちろん、秘密保持の原則を順守し、たとえば、「アメリカでは・・・」というように、内容を加工して話し合うことも専門家には求められる能力ですのでそのトレーニングも致します。また、組織の運営方針などには、干渉いたしませんので、ご安心ください。一緒にスーパービジョンを通してソーシャルワーク実践の探究の旅にでてみましょう。

### 参考文献

「ソーシャルワークのスーパービジョン」ミネルバ書房  
「統合的短期的スーパービジョン」金剛出版

### ～昨年度の受講者の声より～

- ◆「仕事の関係で講義に遅れることも多くありましたが、それでもその分を取り戻すように講義をして下さり、身に付けないともったいないと感じる授業です。」
- ◆「スーパービジョンについての学びはもちろんのこと、大前提であるMSWとしての考え方、理論について学んだと感じます。どんな年代のMSWが受講してもMSWとは何かを学べると講座だと思います。」
- ◆「スーパーバイザーとしての姿勢や考えを学ぶよい機会となりました。又、ソーシャルワーカーの理論や枠組みの大切さを改めて見つめ直す機会になり、気づきの多い講座です。」

## 受 講 案 内 詳 細

### 外国人支援のためのソーシャルワーク

開催日	6月	7月	8月	9月
		23日	21日	25日(※)
開催時間	14時00分～17時00分 土曜日開催			
会場	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口 徒歩8分） 中会議室もしくは第二会議室 ※8月25日のみ、会場は異なります。追って受講者にお知らせいたします。			
対象者	東京都医療社会事業協会会員で、かつ連続受講できる方 注：認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、 <u>証明書は発行出来ない場合があります。</u>			
定員	20名			
費用	20,000円(税込)受講決定者には、後日、振込用紙を配布します。			
申込期間	平成30年5月15日(火)必着			
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に <b>FAX</b> でお申し込み下さい(メール不可)。			
申込先	東京都医療社会事業協会 事務局 宛 FAX 03-5944-9745			

#### <講座概要>

外国人の相談支援において、ソーシャルワーカーとして知っておかなければならない知識や事例など各専門分野で活躍する講師の方から講義いただきます。全4回の講座です。内容に関しては、下記を参考ください。

#### <講座内容>

【第1回】平成30年6月23日(土)

テーマ:外国人の生活課題とMSW(外国人の生活課題を深く理解する)

講師:特定非営利活動法人 移住者と連帯する全国ネットワーク 理事 大川 昭博 氏

【第2回】平成30年7月21日(土)

テーマ:外国人と医療(MSWとしての支援や利用できる制度を学ぶ)

講師:東京医科大学病院 総合相談・支援センター ソーシャルワーカー 藤平 輝明 氏

【第3回】平成30年8月25日(土)

テーマ:外国人に関する法制度(外国人に関する法制度や関連する機関等について学ぶ)

講師:さつき法律事務所 代表弁護士 大貫 憲介 氏

【第4回】平成30年9月22日(土)

テーマ:支援の実際(事例検討のほか、MICの立ち上げ、社会資源開発の経緯について知る)

講師:横浜市菅田地域ケアプラザ 所長 ソーシャルワーカー 松野 勝民 氏

～一昨年度の受講者の声より～

◆職種や立場の違う先生方からのお話を聞くことで1つのテーマ、同じ制度の活用方法や、頭の整理の仕方が回を重ねるたびに、自分の中で定着し、とても良かった。

◆外国人支援のためのソーシャルワークを行う上での知識、技術、価値を再確認できた貴重な機会でした。

【教育部より】

グループワークや参加者同士の意見交換の場を持てれば良かったという意見も頂きましたので、今回はそのような場を設けることを検討しております！奮ってご参加ください。

平成30年度講座申込書

	講座名	コース選択等	
<input type="checkbox"/>	新人研修	<input type="checkbox"/> 1. 通年コース	※通年コースが定員に達した場合、 集中コースを希望しますか？ ( <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない)
<input type="checkbox"/>	グループ スーパービジョン	<input type="checkbox"/> A	
		<input type="checkbox"/> B	
		<input type="checkbox"/> C	
		<input type="checkbox"/> D	
<input type="checkbox"/>	スーパーバイザー養成講座		
<input type="checkbox"/>	外国人支援のためのソーシャルワーク		
申込 動機			
私は、上記研修で取り扱われる個人情報は研修内に留め、守秘義務を遵守することに			
<input type="checkbox"/> 同意します <input type="checkbox"/> 同意しません 氏名(自署)			

※希望する講座・コースの□にレ点のチェックを入れて下さい。

※申込動機も必ず記入して下さい。

申 込 者	フリガナ		性別	年齢	経験年数	
	氏	名			男・女	歳
所属 機関	名称	住所 〒 _____ (※郵便番号は必ず記入) 市・区 _____		部署		
	住所			電話	—	—
				FAX	—	—
				Mail	@ _____	
緊急連絡先		(携帯・自宅 _____ )				

※所属機関以外の個人情報は、受講生名簿に掲載しません。

また、受講申込等の管理と担当者からの連絡以外に使用することはありません。

※自宅会員の方は、自宅住所等を記入して下さい。

※緊急時連絡先は、必ず記入して下さい。中止や変更時の連絡先に使用します。